



赤磐

平成19年

3

月議会

# 市議会だより

No.8



平成19年度当初予算 .....	2P
3月議会のあらまし .....	4P
委員会のうごき .....	8P
14人の議員が一般質問 .....	12P

賛成多数で可決

# 前年度並予算



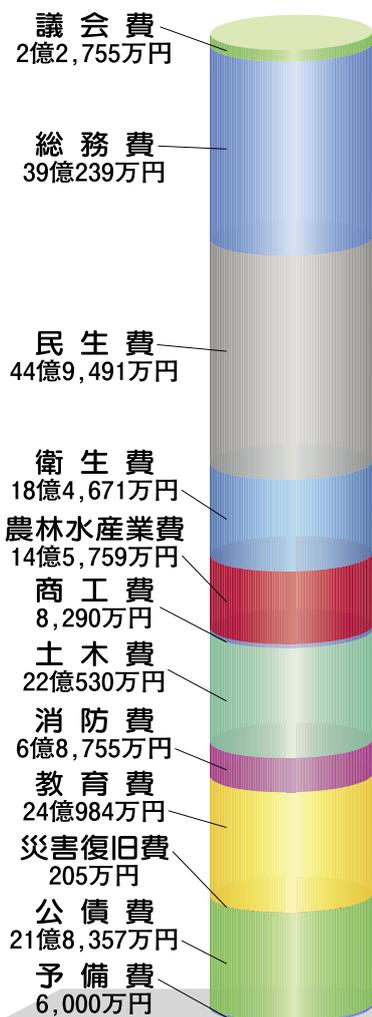
中央図書館・赤坂中学校体育館・吉井給食センターの建設、防災行政無線統合事業などがスタート

## 一般会計

### 歳出

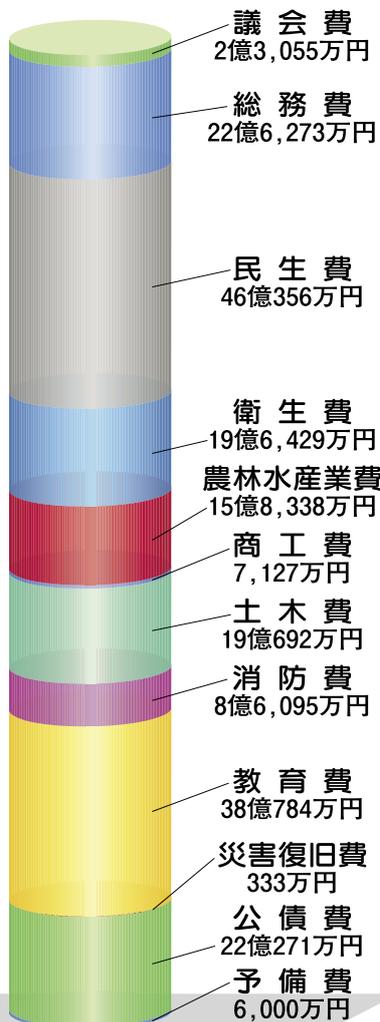
#### 平成18年度

総額195億6,036万円



#### 平成19年度

総額195億5,753万円



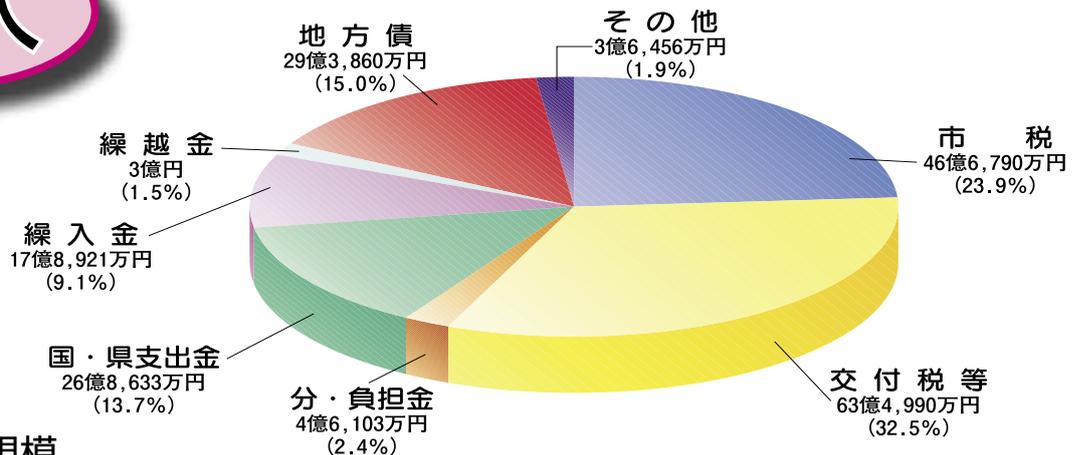
平成19年度の当初予算編成は、前年度並である。現状は、国の三位一体改革による地方への税源移譲もあり、歳入では市税を11・3パーセントの増で見込んでいるが、歳入に占める一般財源総額では前年度を辛うじて確保できたにすぎず、財源不足を基金からの繰り入れで補うという厳しい財政状況である。

行財政改革審議会から、3年間で一般財源18億円の削減目標の答申が出された。今後、経費削減および徹底した既存事業の見直しを行い、歳出削減と歳入確保に最大限努力することが必要となる。

# 一般会計当初予算 195億5,753万円 平成19年度は

## 歳入

### ●平成19年度 歳入の状況



### ●会計別予算規模

会計名	本年度	前年度	前年度比較	
			増減	増減率 (%)
<b>一般会計</b>	195億5,753万円	195億6,036万円	△283万円	△0.0
<b>特別会計</b>	159億6,040万円	155億2,087万円	4億3,953万円	2.8
国民健康保険特別会計	41億9,001万円	38億2,234万円	3億6,767万円	9.6
老人保健特別会計	43億3,572万円	43億5,164万円	△1,592万円	△0.4
介護保険特別会計	29億5,116万円	28億8,339万円	6,777万円	2.4
訪問看護ステーション事業特別会計	1,509万円	1,670万円	△161万円	△9.6
簡易水道特別会計	3億1,369万円	4億5,256万円	△1億3,887万円	△30.7
下水道事業特別会計	40億3,957万円	38億6,754万円	1億7,203万円	4.4
宅地等開発事業特別会計	5,886万円	5,775万円	111万円	1.9
竜天オートキャンプ場特別会計	1,535万円	1,630万円	△95万円	△5.8
田原用水特別会計	335万円	349万円	△14万円	△4.0
土地取得特別会計	1,833万円	1,819万円	14万円	0.8
墓地事業特別会計	1,203万円	2,448万円	△1,245万円	△50.9
財産区特別会計	724万円	649万円	75万円	11.6
<b>公営企業会計</b>	21億3,043万円	22億8,616万円	△1億5,573万円	△6.8
水道事業会計	13億4,516万円	14億3,751万円	△9,235万円	△6.4
熊山病院事業会計	7億8,527万円	8億4,865万円	△6,338万円	△7.5
<b>合計</b>	376億4,836万円	373億6,739万円	2億8,097万円	0.8



# 3月議会の あらまし

## 議案審議

3月定例会を、2月27日から3月22日まで、24日間の会期で開催した。承認案件1件及び報告案件2件を承認、議案49件を可決した。また、請願5件（継続審査1件を含む）を不採択とし、人事案件3件を審議した。

### 国民保護計画

**問** 市の国民保護計画の中に国民保護協議会があるが、その協議の内容はどういうものか。

また、委員のメンバーはどのようなもので、その選任の根拠はなにか。

**答** 協議の内容は、市町村長の諮問に応じて当該市町村の区域にかかる国民の保護措置に関する重要事項を審議することとされている。

委員は市議会議長、自治連合会長、赤磐警察署長、西日本電信電話会社、日本赤十字社、自衛隊などから選ばれた15人で構成されている。

国民保護法に定められたものの中から市長が選任す

**問** 国民保護計画素案について、住民への周知、PRはどのように行うのか。市の広報紙などを活用するの。

**答** 昨年11月の広報紙で、計画素案は総務課や管理課で閲覧できることやパブリックコメントの実施についてお知らせをし、ホームページにも掲示する旨すでに知らせている。

### 職員退職金

**問** 市職員の中に団塊世代の退職者はどれくらいいるのか。また、それに対する退職金の手当てはできているのか。

**答** 退職予定者は2007年が17人、2008年が18人、2009年が17人である。

定年で退職、というこ

## 条例

### 特別職の給料

**問** 赤磐市4万5000人の生活を背負っている市長の責任は非常に重たい。給料を下げる必要はないと思うがどうか。

**答** 市長として自ら行財政改革に取り組み姿勢を示すため今回条例を上程した。また、執行部が丸となつて課題に取り組みため両助役（4月から副市長）教育長についても給料を引き下げた。

**問** この条例は1年間で

とで算定すると年間で約3億円、3年間で約10億円必要となる。赤磐市は市町村総合事務組合に加入しているため、特別負担金を除き、退職金はその積み立て分から支払われる。

市長については70万円×0・03の12カ月で25万2000円、教育長は64万円×0・03の12カ月で23万4000円となり、合計180万2400円となる。

### 体育施設

**問** 野球施設の照明使用料について市内外で大きな格差がある。例えば、山陽地区では時間当たり5000円、吉井地区では6000円の格差があるがなぜか。

**答** 合併協議会で、現行どおりにする、ということであったのでそのまま引き継いで運営している。今後、多くの人々に有効利用してもらうため、市内全体的に施設の使用料金の設定も含め諸条件の見直しを図っていく。

**問** 市長、副市長、教育長、副市長、教育長について具体的な金額はいくらか。

**答** 市長については89万円×0・1の12カ月分、106万8000円、副

# 18年度一般会計補正予算

## 社会福祉費

**問** 多額の減額補正が出ているが、説明を求め。

**答** 年度途中から障害者自立支援の施行が始まり、予算上不確定要素があったことが理由である。

保健福祉部関係では9108万1000円、9・5パーセントの減額補正である。

## 図書館

**問** 図書館建設に関して多額の減額補正が出ているがなぜか。

**答** 予算編成の折に他の建設事業等を参考に、また、県からの指導も受けて算定したが、解体工事を含む基本・実施設計に約935万円の残が出た。

さらに、用地測量、土質調査に関する入札の結果約238万円の残が出て合計1212万6000円の減額補正となった。

## 生活保護

**問** 扶助費が3000万円減額になっているが、生活保護の件数を減らすため厳しい対応をしているのか。

**答** 18年度当初予算では保護世帯を144世帯として計上していた。そのうち、死亡5件、転出5件、年金を受給した人が4件、就職した人が5件、その他9件で廃止合計が28件、新規保護世帯が25件で、1月末現在137世帯となり、対象戸数減と医療扶助の伸びが低くなったためである。

## 保育料

**問** 保育料1603万5000円の減額補正の中心は何か。

**答** 当初予算は全体の園児数によって推計しており、2億1288万6000円であったが、18年6月に17年度所得額により算定した結果1億9685万1000円となり減額補正した。

## 事業の相違点

**問** 合併特例事業と合併推進事業の違いを説明せよ。

**答** 合併特例事業は合併後特例債を財源とし、市の建設計画に基づく事業である。例としては図書館建設、グラウンドゴルフ場建設、美作岡山道路建設負担金、市道建設、消防署の東出張所等の事業である。

合併推進事業は合併のために必要な合併前に行う事業であるが、引き続

いて実施しているものが合併推進事業である。例としては合併市町村が、

統一した処理を行うための電算システムの統合が主なものである。

## 18年度市立熊山病院 事業会計補正予算

**問** 入院患者が大幅に減った理由の分析と、今後の見通しについて説明せよ。

**答** 社会的入院患者が介護施設へ入所、手術入院の減少などで、大幅な入

院患者の減となった。今後は、悪化した経営状態の改善を図るために、抜本的改革を含む改善対策が必要であると考ええる。

# 19年度一般会計予算

## 産業振興

**問** 花火大会などのイベント費用の財源は何か。

**答** 財源の内訳は、ふるさとづくり基金繰入金800万円と地域振興基金

## 住民税

の利子を充当した。

**問** 市税の個人分約30パーセントの増加は、税源移譲により所得税から市民税への振り替えと思

うが、予算設定にあたり収納率をどのくらいと見ているのか。  
**答** 現年分で97・5パーセント、滞納繰越分で15パーセントを目標に予算計上した。

(次のページに続く)

19年度より、所得税から住民税への税源移譲で、トータルでは移譲前後で変わらぬよう制度設計されている。住民税所得割の税率がフラットになり住民税だけを見れば大幅な増税で、収納率に影響がでると予測される。

## 防犯対策費

**問** 自主防犯活動団体の支援補助金については、何団体くらいを対象としているのか。

**答** 19年度は3団体程度を予定。県の条例に基づき、小学校区単位の区域で子ども見守り活動の防犯活動をしている団体を対象に、10万円以上20万円までの啓発物品の購入費用などを交付する。

## 防災対策費

**問** 防災無線の管理事業に、2億3000万円と高額な予算が計上されているが、概要の説明と整備の状況、今後の課題に

ついての詳細な説明をせよ。

**答** 防災行政無線は合併時に統合できてなく、赤磐消防組合の解散で、常備消防業務が市の業務になったことなどから、事業を実施する。

内容は、故障の頻発している赤坂地域の機器の更新をし、本庁・各支所・消防本部の放送設備と中継局を整備する。

吉井・赤坂地域がデジタル化されても、その他の地域はアナログだが交換機をつけることにより問題は無い。

## 松くい虫予防

**問** 事業費2377万円は本当に必要なのか。

**答** 松枯れはマツノザイセンチュウが起す伝染病で、薬剤の空中散布と被害木の伐倒駆除の対策をしてきた。松を保全することは、国土保全とマツタケを始めとするキノコ類の発生環境の条件整備になる。

松くい虫の駆除の効果

は絶大である。空中散布は開発の進んだ地域ではやりにくい。市内で630ヘクタール実施している。

## 駅名変更 (熊山)

**問** JR熊山駅の名称について、赤磐市発展のために赤磐駅に変更することを計画に入れてはどうか。

**答** 住民の意見を十分聞きながら、基本計画を策定していくが、現在のところ名称変更の要望は聞いておらず、考えていない。

## 滞納整理

**問** 滞納整理システムが稼働し、休日徴収・夜間徴収がスタートする。その効果とコスト増はどのくらいか。

**答** システム導入により、従来手作業で行っていた滞納整理の内部事務が約20パーセント省力化され、滞納者との折衝件

数の拡大につながり、収納率の向上を期待している。

当初予算には増額計上していないが、徴収率で0・250・5パーセント、金額で800万円、2000万円の徴収増を目途に取り組む。

なお本システムの構築に1858万円、ランニングコストとして37万円の保守料金が必要となる。

## 訪問看護 ステーション

**問** 利用収入が人件費の半分ぐらいで、民間でもやっている事業である。市で行う必要があるのか。

**答** 独立採算を念頭に、市立病院との連携を密にして、利用者増を図る。19年度努力し、改善が見

る。

また訪問徴収の不在率は41パーセントなので、19年度から土・日・祭日や夜間訪問を積極化する。

## 農業振興

**問** 熱意を持って集落営農の話をしてきたが、予算計上や行動が何もないがどうなっているのか。

**答** どんな取り組みにも集落の皆さんで話し合い、合意することが重要である。そのためはよきリーダーが必要である。

中山間地域直接支払制度以外は、ほとんどがソフト事業であり予算には直接表れない。19年度には集落営農リーダーの地域住民の話し合いを進め、事業対応は後で行う。

# 19年度特別・企業会計予算

られなければ、特別会計を廃止し市立病院へ移す。

特別交付税8848万円を差引いた9152万円である。

## 市立熊山病院

**問** 実質的な市の負担はいくらか。今後も毎年負担は続くのか。

**答** 19年度における市の実質的負担は、一般会計からの繰出金1億8000万円から普通交付税・

現在のような病床利用率であれば今後も続く。病院長の取り組み姿勢もあるので十分協議し、改善計画等も運営委員会に報告協議する。

早急に経営改善に取り組み、地域医療の拠点としてやっていく。



次のとおり、同意、適任としました。

### 監査委員

藤原 光利（長尾）

### 教育委員会委員

生本 滋春（河本）

### 人権擁護委員

近江 勲（今井）

## 反対討論

報告第2号赤磐市国民保護計画について

自治体や住民を戦争体制に組み込むことになるので、反対である。

議第36号平成19年度赤磐市一般会計予算について

独自施策で弱者救済する予算がついていないので、反対である。

議第25号平成18年度赤磐市介護保険特別会計補正予算・議第39号平成19年度赤磐市介護保険特別会計予算について

市独自の上乗せ給付、特別給付は行われないので、反対である。

議第37号平成19年度国民健康保険特別会計予算について

一般財源をもっと使うべきで原案に反対である。

議第49号平成19年度赤磐市水道事業会計予算について

減価償却基金を繰り入れ値下げをすべきであるので、反対である。

## 賛成討論

議第36号平成19年度赤磐市一般会計予算について

図書館建設の予算が計上されている。原案に賛成である。

## 請願

安心・安全な公務・公共サービスの拡充を求める意見書採択を求める請願書

（不採択）

【請願の要旨】公務・公共のサービスや社会保障制度を充実し応能課税を行うことを政府へ要望すること。

【賛成討論】大企業や大資本家に負担を求め庶民の暮らしを豊かにするためにこの請願に賛成である。

改憲手続き法案にかかわる意見書採択を求める請願書

（不採択）

【請願の要旨】憲法改悪に直結する改憲手続き法案を廃案にするよう国会へ要望すること。

【賛成討論】アメリカとともに戦争する国にならないためにもこの請願に賛成である。

労働法制の拡充の意見書を求める請願書

（不採択）

【請願の要旨】雇用や労働条件の改善のため労働法制の整備・改正をするよう国に意見書を送付すること。

【賛成討論】所得格差の拡大を防ぐためこの請願に賛成である。

最低保障年金制度について貴議会の意見書を厚生労働大臣へ提出することを求める請願

（不採択）

【請願の要旨】月額8万円の最低保障年金制度の創設を求める意見書を厚生労働大臣に提出すること。

赤磐市中心身障害者医療費助成の拡充を求める請願書

（不採択）

【請願の要旨】透析患者を含む重度心身障害者が安心して治療が受けられるよう医療費助成の拡充を求める。

【賛成討論】受益者負担は当然という姿勢はあまりにも冷たい。単市事業として実施すべきでこの請願に賛成である。

# 総務常任委員会

3月12日総務常任委員会を行った。  
議案12件、請願2件について審査した。

## 市長、副市長、 教育長の給料

**問** なぜこの時期に下げ  
るのか。

**答** 行財政改革審議会から3年間で18億円の一般財源ベースでの減額の提言をいただいた。今回の条例制定は、非常に厳しい財政状況を踏まえながら、市長として意識改革やこれからの取り組み姿勢を示したものである。

## 市職員の給与

**問** 条例改正により職員の  
待遇がどうなるのか。

**答** 管理職手当は、最高限度額が決まり、また、職責にあった定額制とする。

国の基準より試算すると、増える者減る者があるが、全体では月額21万7000円ほど減る。

## 18年度補正予算

### 一般会計

#### 職員厚生費

**問** なぜ職員厚生費負担  
金を減額するのか。

**答** 職員互助会などへの助成を予算計上していたが、市になってから組織ができていないので、減額した。

**問** 片上鉄道沿線地域活  
性化対策協議会の今後の  
見通しはどうか。

**答** 協議会全体の負担金を3000万円以内と決め、これによってどういう運行形態が取れるか協議会において話し合い、十分精査し今後の対応を考えていく。

**問** 決算で基金の積立を

どのくらい見込んでいる  
のか。

**答** 3億円の決算積立を  
予定している。

### 特別会計

**問** 竜天オートキャンプ場  
運営方法で指定管理

者の話があるが、どう  
か。

**答** 利用客が年々減少し  
ている中で、竜天天文台、  
ドイツの森などと連携し

## 19年度一般会計予算

### 市民税

**問** 税収が大幅に増える  
のは制度が変わったから  
か。

**答** 税源移譲の関係で市  
民税は増となったが、所  
得譲与税が0となり、地  
方特例交付金も定率減税  
廃止により  
大幅減と  
なった。  
総額では  
ほとんど変  
わっていない。

### 財産管理費

**問** 財産管理費の防災行  
政無線統合工事につい  
て、赤坂地域は戸別受信  
の要望はないのか。

**答** 区の放送などを流す  
ことが多いので、区の放  
送のしやすい従来どおり  
の屋外の放送塔によるこ  
とにしている。また、戸  
別受信の要望はない。

### 市民憲章

**問** 市民憲章等策  
定委員は何人か。

**答** 10人で4回を  
予定している。

**問** 熊山駅前開発

**答** 熊山駅前開発  
計画は、機構改革  
後も支所が統括す  
るのか。

**答** 企画段階まで

は、支所と相談しながら、  
本庁が担当する。

### 電子計算費

**問** 電子計算費の岡山県  
電子自治体推進協議会負  
担金の内容は何か。

**答** 協議会は岡山県と全  
市町村で構成し、負担金  
は光ファイバーの共同保  
守費用である。

### 消防費

**問** 災害対策費のうち工  
事請負費は何か。

**答** 災害時の避難場所の  
看板設置工事で、現在看  
板のない山陽地域以外の  
工事である。



竜天オートキャンプ場（中勢実）



避難場所看板

# 厚生常任委員会

3月13日に厚生常任委員会を行った。  
議案18件、請願1件及び継続審査中の  
請願1件を審査した。

## 18年度補正予算

### 一般会計

#### 生活保護費

**問** 窓口での厳しい対応が、受給世帯数の減少になつたのではないか。

**答** 生活保護法を遵守し適正な対応をしている。死亡、転出、就労等による減である。

### 企業会計

#### 病院事業会計

**問** 看護師の人数減、ジェネリック医薬品の使用率改善についての具体的な努力について説明せよ。



ジェネリック医薬品

## 19年度一般会計予算

### 保育料の滞納

**問** 保育所負担金の滞納操越分100万円を計上しているが、私立についても、嚴重に園の方で対応してもらえないような形をとってもらいたい。

**答** 保育園と協議し、園からも指導できるようにお願いしていきたい。

### 配食サービス

**問** 配食サービスの実態はどうなっているのか。

**答** 申請を出された161人で実施している。地区別では、山陽108人、赤磐10人、熊山11人、吉井32人である。配達料は1食当たり250円で吉井の過疎地域は310円である。

### 福祉タクシード

食事は実費負担で400円程度である。

### 福祉タクシード

**問** 福祉タクシード事業について、7月からは柔軟な対応ができるのか。

**答** 400人分で、500万円計上している。従来、相乗りの場合で1人分しか使えなかったが、7月から相乗りの人も3人乗れば3人分の初乗り料金が使えるように運用を変えた。

### ごみ処理の広域化

**問** 備前地域ごみ処理広域化対策協議会負担金198万5000円を計上しているが、広域化の考え方を説明せよ。

**答** 現在、赤磐市、瀬戸内市、備前市、和気町で協議会を立ち上げ、事務局は赤磐市にある。人口14万人なので140トン、150トンクラスの処理場になる。これから協議していくが、意見を十分に聞きながら対応していく。

### 鴨前焼却施設解体工事

**問** 鴨前焼却施設の解体工事についてダイオキシン飛散には細心の注意でやってもらいたい。

**答** 解体を行う場合、解体前の作業環境測定、高



山陽清掃センター（鴨前）

## 19年度特別会計予算

### 訪問看護ステーション事業

**問** 病院との関係はどのようになっているのか。また、今後はどうなるのか。

**答** 病院とは全く別の施設である。19年度の訪問看護ステーションの経営状況により、病院の経営改善を実施する中、訪問看護事業を病院事業の中

### 国民健康保険

**問** 本当に困っていて、国保税が払えない人は資格証明書を出す事なく病院にかかれるようになりませんか。

**答** とにかく相談に来てもらいたい。話を聞いた上で対応する。

# 産業建設 常任委員会

3月14日産業建設常任委員会を行った。  
議案24件、請願1件について審査した。

## 条例改正

### 仁堀農業集落排水事業

**問** 公共ますの位置により、やむを得ず二つ目の公共ますを設置しなければならぬ場合の減免措置はないのか。

**答** 山陽処理区は公共ます1個当たり30万円、熊山処理区は1戸（1軒）

当たり30万円、吉井処理区は1公共ます当たり30万円であり、旧町で条例の内容が異なっている。熊山地域では、2カ所設置する場合もある。

平成21年までは旧町どおりで運用しその後統一する。

**問** 奨励金も統一するのか。

**答** 21年までは現行のままで、統一案を委員会へ諮りたい。

## 特別会計

### 宅地等開発事業

**答** 各支所を中心に出向き説明し推進したが、赤坂地域で12協定の13・3ヘクタール、熊山地域で2協定の9・2ヘクタールにとどまった。

**問** 宅地売却に今後どのように取り組むのか。

**答** 早期完売のため、旧吉井町で実施していた優遇措置の再開を全市的に検討したい。

## 19年度一般会計予算

### 商工費

**問** 企業誘致等により歳入増につなげると言いながら、どうして商工費が1000万円も減額なのか。

**答** 行財政改革のため予算を減らすだけでなく、歳入を増やすべきであるとの意見を尊重し、企業誘致に取り組む。

商工費全体では減額になっているが、誘致活動にはそれほど費用は要らない。

### 植林補助金

**問** 花粉症になる植林補助金は適切か。

**答** 緑資源機構との契約に基づき補植するもので、杉・ひのきに限り、個人で植林する

無花粉の杉も開発されているが、苗木が普及していない。今後検討する。

### ふれあい公園管理

**問** 植栽管理委託料2500万円は昨年と同額であるが、削減できないのか。

**答** 現状を維持していくには経費がかかるので、対象面積を減らすか、芝管理を除く草刈りなどを部分的にシルバーに委託するなど経費節減に努める。

### 河川総務費

**問** 備品購入費は昨年熊山地域のボランティアが作業中に、転倒し壊れた草刈機の買換えとの説明だが、200万円も高く大型である。どのように活用するのか。

### ハザードマップ作成

**問** 地震のハザードマップ作成手数料が306万6000円に対し、洪水のハザードマップ作成委託料が600万円と高いのはなぜか。委託先は同じか。

**答** 洪水のマップは堤防が決壊時に、どこまで浸水するかについて現地調査を行い各戸に配布する。地震マップは県が作成した揺れやすさのマップをもとに、市内の建物の状況を反映させた電子データを作成するもので、各戸には配布しない。調査内容に差があるため金額に差が生じている。一括発注するかを含め専門業者を選定する。

## 委員会のうごき



仁堀農業集落排水（仁堀浄化センター）

## 18年度補正予算

### 一般会計

**問** 中山間直接支払制度対象区域が吉井に加え熊山・赤坂に拡大したが、減額が大幅である。推進にどのように取り組んだのか。



仁堀団地

# 文教委

3月9日文教委常任委員会を行った。  
議案3件について審査した。

## 条例改正

### 体育施設 使用料金格差

**問** 使用料金は施設により差が大きいのではない

**答** 旧町の料金を引き継

いでいる現状である。  
全ての施設について19年度中に見直し20年度から改正する。

**問** グラウンドゴルフ場の使用料はどのように設定したのか。

**答** 県内の施設を調査し1日当り市内3000円に設定した。

## 19年度一般会計予算

### 図書館

**問** ICTタグとはなにか。

**答** 一般的には電波を使い、人や物にチップとアンテナを付けたものと、読みとり機との無線の通信システムのことである。

**問** なぜ取り付ける必要があるのか。

**答** ICTタグシステムの導入により、貸し出しや

および机・いす等の閲覧用備品を計上している。備え付け備品は、工事費で対応する。

### 第19回全国生涯 学習フェスティ バルIN赤磐

**問** 日時・事業は何か。

**答** 11月2日から6日の

5日間、音楽祭・文化講演会などの他、展示コーナーでの学習発表、屋外では見本市で市内各種団体が特産品の販売を行うなど多くの事業を予定している。

### 放課後子ども 教室推進事業

**問** この事業はどのようなものか。

**答** 19年度からの新規補助事業である。

本年度は、赤坂・吉井地域の2地区で体験学習講座などを実施する予定である。

地域の子どもを対象とし、安心、安全な子ども

の拠点づくりで地域の参画を得て子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動の交流に取り組みものである。

### 教育用コンピュータ

**問** 基本ソフトをリナックスにすると古いものも使える。教育用コンピュータはそれほど互換性がなくてもよい。リナックスを入れるとずつと使えるので買い替えも必要ない。導入してはどうか。

**答** 現在立ち上げている学校教育情報機器整備委員会や事務局で検討する。

### 中学校トイレ

**問** 学校管理費の施設維持管理工事の内容は。

**答** 主なものは、洋式トイレのない学校に順次洋式トイレを整備する。

今年度は高陽中学校、赤坂中学校および磐梨中学校を行う。

### 赤坂中学校体育館

**問** 赤坂中学校の体育館建設工事（2億2510万円）について、過大な予算計上になってはいないか。

**答** 工事面積は、約1000㎡であり、かなり厳しい建設費を計上している。近隣の例では約900㎡弱で2億2000万円の実績がある。適切な予算の執行を行いたい。

### 文化財保護

**問** 文化財保護費の備前四つ拍子保存会補助金4万5000円について、旧山陽町から引き継いでいるものであると思うが、赤坂・吉井地域でも行っている。貴重な文化

の伝承について再点検をすべきであると思うがどうか。

**答** 文化伝承の実態については、現在、調査を始めたところである。他地域でも獅子舞、太鼓など保存に向けた活動を行っている団体もある。調査後、今後の助成のあり方についての方向性を定めていく。

**問** 工事請負費についての説明を。

**答** 18年度から実施している両宮山古墳の中堤保存工事であり、19年度は西側170mを実施するものである。保存工事は、19年度で完了する。



マナビィ



両宮山古墳の堤防

# 一般質問



## 市の考えを問う

14人の議員が登壇し市の考えをたどしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



赤磐警察署（岡山市瀬戸町）

### 問

市民が求める行政サービスを提供すべきではないか

### 答

迅速かつ的確な市民本位の市政運営を行う



佐藤武文議員

問 合併については、時間と共に理解が伺える。しかし、地域格差や課題は残されたままである。

絶対条件である。市民の付託にどのように答えるのか。

良かったと実感いただけ、都市計画マスタープランを策定し、用途地域の見直し、市民が求めるサービスの提供をすべきではないか。

機構改革で、職員は危機意識をもち課題に積極的に取り組むべきである。どのような人材育成を行うのか。

安全安心のためには、赤磐市に警察署の所在が

基金（旧山陽町分）は、桜が丘地域の修復・修繕を行う補完財源でもあった。使途について間違えていないか。

速かつ的確なサービスの提供を全庁一丸で行う。歳出削減を図り、行財政改革に取り込む。

都市計画区域は、市の発展に沿つよう岡山県へ要請していく。

問 地域の伝統・文化は若い世代へ継承すべきである。地域の文化が見失われつつある。生涯学習において機会をつくるべきではないか。

答 さまざまな体験や、異なつた年齢の人への接し方など、子どもを取り巻く学習機会の充実、子育て支援に取り組む。

答 新しいまちづくりには、迅速かつ的確なサービスの提供を全庁一丸で行う。歳出削減を図り、行財政改革に取り込む。

問 地域の伝統・文化は若い世代へ継承すべきである。地域の文化が見失われつつある。生涯学習において機会をつくるべきではないか。

答 さまざまな体験や、異なつた年齢の人への接し方など、子どもを取り巻く学習機会の充実、子育て支援に取り組む。

答 さまざまな体験や、異なつた年齢の人への接し方など、子どもを取り巻く学習機会の充実、子育て支援に取り組む。

### 表紙のひとこと

#### 山陽西幼稚園入園式

桜満開の4月12日（木）に、山陽西幼稚園が新たに開園しました。

開園式の後に行われた入園式では、19名の新入園児が一人ずつ名前を呼ばれ、「ハイ！」と元気な声で返事をしていました。

これからの赤磐市を担う大切な子どもたち。先生やお兄さんお姉さんと一緒に素敵な園生活を送っていただきたいものです。

問

一般競争入札をいつ導入するのか

答

国のマニュアルが示され次第取り組む

問 国も指名競争入札をやめて一般競争入札を導入しよう指導している。県も19年度から導入予定だが赤磐市はいつから導入するのか。

ニユアルや県その他の自治体も参考にしながら、早期に要綱整備と実施方法の検討を行い実施に向けて前向きに取り組んでいきたい。

答 県は19年度から対象工事の範囲を引き下げ、最低1000万円以上のすべてに拡大する方針を出している。

10億円の滞納を整理せよ

問 赤磐市は10億円以上の滞納があり悪質滞納者が非常に多い。納めたくても納められない人と、お金があるのに納めない人の見極めが大事であるがどうなっているのか。

19年度からは、滞納整理システムを稼働して分析を行い、税務課独自に給与、年金、預金口座の調査も実施していく。



縦野志郎議員

問

行革に「事業仕分け」を導入せよ

答

事務事業評価を定着させた後「事業仕分け」を検討する



荻田敏正議員

うに指摘し、3年間で約18億円の行革効果が必要と提言している。

行革に

「事業仕分け」の方法を導入して行うべきと思うがどうか。

プロジェクトチーム等を作ってはどうか。

答 行革には職員の意識改革が必要である。

まず、事務事業評価をしっかりと定着させ、

ニユアルの考えを浸透させた上で、「事業仕分け」

の実施を検討する。行革推進本部・行革推進委員

会・行革推進プロジェクトチームの3組織を活用し、取り組んでいく。

未納者には督促・家庭訪問で対応

問 学校給食費の未納問題が教育現場に問題を投げかけている。

平成17年度は未納者が43人となっているが、未納者の対策は、どうしているのか。未納

真の食育教育を充実

問 学校給食の食べ残しの実態は。給食残飯の処理方法の現状は。環境教育は。

答 その日のメニューにより残飯量増減がある。焼却処分・犬の餌・生ごみ処理機等で行っている。真の食育教育に努める。



学校給食をとる児童



税チラシ

答 税務課職員による臨戸訪問徴収と納付指導を徹底

### 問 交番機能を高め、市民が安心できる体制づくりを

### 答 警察と十分協議し、前向きに取り組む



松田 勲議員

な体制づくりを、県警や県知事にも要望するべきではないか。

答 現在の赤磐署の建てかえ時期に、移転の措置を講じる方向で検討すると示されている。

市の安全・安心を図るためには、駐在所の機能強化も当然図るべきだということ、警察の方と十分協議し前向きに取り組む。

問 後押しがなければ、ボランティアもなかなか続かない。ボランティアで地域や通学区を歩いている人やグループ・団体を顕彰したり、広報紙に紹介するなどして、活動を広めてはどうか。

答 地域の安全・安心を守っていただいている青色回転灯の皆さんが、苦勞されていることに對し、心から感謝と敬意を

表する。市としても自治会と連携をとりながら支援したり、広報紙等でも紹介をして、できるだけ活動に参加してもらう中で住民意識の高揚を図ってきたい。

問 市民サービス向上のためには、市民に接している職員の使命感とやる気、向上心を今以上に持つことが大切である。

そのためには、頑張っている職員の評価をし、何かの形でそれを具体的に表現すべきではないか。

答 人事評価制度の導入計画は、7月か8月ごろには目標設定研修を全職員対象に実施したい。

また、10月か11月ごろを目安に係長以上の職員を対象に評価者研修を計画している。

平成19年度から実際に目標設定を行い、評価も行っていく。



桜が丘駐在所

### 問 熊山病院の建て替えは

### 答 当面は考えていない



実盛祥五議員

問 市立熊山病院は、歴史のある病院である。昭和19年、可真村・小野田村の組合立で昭和診療所として民家を借り受けて開設した。

昭和24年、豊田村・可真村・小野田村の組合で昭和診療所として沢原の地に移転した。

昭和27年、3か村組合で昭和病院と名称を変更し、昭和42年、国民健康保険町立病院として名称を変更し、現在地へ移転。

建物が古く、時代に合った病院にして眼科、耳鼻科を新しく開設して、高齢者のため、市民の利便さのためにお願いしたい。

温かい心で病気予防及び適切な治療、看護を提供し、市民の健康を守るということをお忘れなく、触れ合い、安心を

大切にしている。肝要と考えている。建物本体、水道、酸素、冷暖房施設等、各設備も、長くは使用に耐えない状況にある。

大切にして診療レベルの向上、医療サービスの充実のために病院の建て替えをお願いしたい。市立熊山病院の建て替えについてどのように吟味しているか。

答 市立熊山病院は、地域医療に大きく貢献をしてきているが、非常に経営状態が悪化している。現在の建物は昭和42年に開設された病院で、建築してから40年を経過しており、相当老朽化している。

しかしながら、今のところ建て替えは具体的に検討していない。当面の問題として、大幅に悪化している経営状態の改善を図ることが

市立熊山病院



市立熊山病院

### 問 未収金10億円の徴収対策は

### 答 徴収確保推進本部を設置



小田百合子議員

今後、副市長を本部長とする徴収確保推進本部を設置し、特別巡回徴収の実施等全庁的な徴収体制を確立、積極的な徴収向上の取り組みをする。

**問** 徴収業務を民間委託する市場化テストのモデル事業が行われており、徴収率が上がったという評価が出ている。赤磐市が他に先駆けて事業を進める考えはあるか。

**答** 本市においても電算処理システムの維持管理、納税通知書・督促状の印刷作成等の業務は民間委託している。市場化テストモデル事業については、滞納者への電話・訪問などによる呼びかけ業務のみが対象で、公権力の行使は委託できない。現状の徴収業務を継続する。

ごみ行政への理解を求めるとは

**問** ごみ処理に対し市民の意識は格差が大きい。現状の厳しさを知ってもらうよう、処理費用、環境への影響、今後の方針等をPRすべきだ。ごみ処理施設の計画等も早い段階から情報公開を進めるべきだが、取り組みを説明せよ。

**答** 現在、備前地域ごみ処理広域化対策協議会を立ち上げ、計画を具体的に協議検討していくが、その経過等は情報の開示を行う。

ごみ処理の現状や今後の広域ごみ処理計画を踏まえ、ごみ行政を理解してもらえよう広報紙等を通じてPRしたい。



税パンフレット

### 問 農業振興専門の部署を設置しては

### 答 産業振興課農林振興係で対応



川澄章子議員

るので変更は考えていない。

現在ある青空市の調整と関係団体と協議して、ハード面、財源確保等十分検討していきたい。

大型のごみ焼却場建設は減量化と矛盾しないか

**問** 新たに立ち上がったごみ広域化対策協議会の現時点の進展状況と今後を示せ。また次の3点について問う。

ゼロ・ウェイスト宣言をどう思うか。大型炉1カ所だけでなく2、3カ所に小型炉を。

連続稼働炉はごみを限りなく集めることになる。減量化と矛盾しないか。

**答** 今年度中に県の計画が出される。早く建設予定地を決定し、進めていきたい。

ごみを発生させない為には市民・行政・事業者が力を合わせ、ともに痛みも分け合うということが重要。

広域化処理は必要だ。効率的に対応でき、減量化と矛盾しない。

国保税の引き下げを

**問** 国保税の引き下げのために一般財源から繰り入れをせよ。

**答** 加入世帯は全体の52パーセント強で繰入れは考えていない。



ごみ収集車

**問** 本気で農業振興に取り組む姿勢を示すために、次の3点について、ぜひ検討してほしい。地産地消推進対策室の設置を考えてはどうか。給食センター方式を自校方式に変えてはどうか。産直センターの構想はあるか。

**答** 地産地消も含めて、農業振興へ力を入れていきたい。

振興係で行っていく。自校方式は経費がかか



桜が丘中学校

### 問 税源移譲された税金の 使い方は

### 答 市民生活に直結した 事業に厳選



下村 脩議員

問 国の税源移譲により、所得税が減額になった分は住民税が増額になり、国や県を通じて市に

入っていた税金の一部は、直接市民からいただくことになる。市は独自の考えで使える分野が広がることになる。市の財政は厳しい状況下だが、より多くの市民が享受できる分野で、新しい事業とか、今までの事業の充実を図ることが肝要ではないか。

答 市民税の増加は、市の責任に於いて個性のある財政運営の必要性が、強く求められていると理解している。

しかし本市の場合、市民税は3億4千万円増加するものの、国からの所得譲与税が廃止になり、財源の増加はほとんど見込めない。事業執行に当

たつては、市民から直接いただいた税金が使われている事を再度認識し、住民ニーズに的確に対応しながら、市民生活に直結した事業の効果的な運営をやっていききたい。

### 学校選択制の実施状況は

問 19年度より幼稚園、小学校、中学校で学校選択制が導入された。学区外からの新入生、編入生の状況と問題点はどうか。

答 桜が丘東地域で、幼稚園7人、小学校18人、中学校41人、合計66人が選択している。

学校運営に大きな影響はないと思うが、学級数と教職員の増減、通学班やPTA組織の見直し、新たな人間関係の育成、居住地域における子供の社会づくり等の課題がある。保護者と児童、生徒の学校選択の意思を尊重し、開かれた学校を推進したい。

### 問 熊山病院の充実を

### 答 抜本的改革が必要



福木京子議員

問 今、自治体病院は、

国の医療費抑制政策のもと経営の赤字などの深刻な課題に直面している。

こついつときこそ自治体病院が地域医療の維持、充実という役割を發揮していくべきであるが、地域医療をどう考えているのか。市民の声を

生かして改善すべきではないか。

答 熊山病院も入院患者の落ち込みで非常に苦しい経営状態にあり、抜本的改革が必要である。高齢化が進む中、地域医療はますます重要である。病院の経営の健全化に向けて、議会、市民の意見を聞いて進めていく。

### 学力テストの中止を

問 文部科学省が実施する全国一斉学力テストは一層競争を強め子供たちを序列化する。委託を受けた民間企業が個人情報握り重大であり、テストの中止の意見を上げよ。

答 文部科学省の実施要領に沿って参加する。民間企業への委託については個人情報保護条例がある。

### 教育支援員の配置を

問 特別支援教育支援員を市として確実に配置し

てはどうか。  
答 赤磐市内では、対象児童・生徒が約100人であり、来年度小学校11人、中学校2人、予算化している。

問 USS企業の車の往來が激しい。協定書は守られているのか。苦情はないのか。

答 苦情等に関しては、覚書に基づいて企業に対し指導や周知を行うとともに必要な対策を講じてきている。



市立熊山病院

### 問 教師の多忙化と疾病について

答 お互いに助け合いながら対応している



藤田圭右議員

文部科学省の発表によると95年度の全国の公立小・中・高等学校で教師のうつ病で休職した人は1240人、10年後の05年度は4178人と3倍以上になっている。

原因については、主に多忙化・加重労働といわれている。そこで、市内の小・中学校の状況について質問する。

問 昨年度、本年度の間外労働について、小・中学校別に最低・最高・平均の時間数と人員を知りたい。

答 本年度も6月の1週間を指定した調査によると、管理職を除いて小学校で最低70分(1人)、最高16時間(2人)、平均約8時間。

中学校は最低5時間(1人)、最高17時間(1人)。

人)、平均約10時間であった。

問 持ち帰り残業はあるのか。

答 原則的にはない。

問 年次休暇の消化率は、100パーセントか。

答 100パーセント消化は出ていない。平均、年間11日程度の取得日数である。今年度は特に3カ月ごとに取得計画表を、各学校で作り、取得しやすいように取り組んでいる。



夜間の職員室

問 昨年度、本年度の教師の休職者数は。

答 昨年度は4人、本年度は2人である。

問 人事考課制度の長所・短所は。

答 管理職と教職員とが直接話し合う機会が保障され、学校経営に向けて取り組みが一本化されていくという長所がある。

しかし、年3回の面談、授業参観、時間の確保、調整が難しい。

問 今後高齢者の増加に伴い在宅医療の必要性も増してくると思うが、経営

調整が難しい。

### 問 熊山病院の経営悪化について

答 経営改善のプログラムを立て検討する



岡崎達義議員

節減によって医療サービスが縮減された場合、在宅医療はどのような取り扱いになるのか、民間医院に委託するのか。

答 経営状態を一定の経営水準まで回復するのが急務と考えている。

経営改善のプログラムは早い時期に立てたい。

熊山地域に必要な病院であるという認識にたって考えると、今の診療エリアに必要な規模の医療機関として存続しなければならず、その中でIT化、外来医療、医薬分業等の経営効率を考慮しながら改革を進めていかなければならない。

地域医療の拠点病院であり、地域の診療所、かかりつけ医として必要な病院である。

問 医療制度が改定され、医療機関の経営が圧迫されていく中、熊山病院は地域医療の拠点として大きな役割を担っているが、今後の病院運営について、どう考えているのか。経営改善のためのプログラムを立てそれを示して欲しい。

仮に縮小するとすれば今後の病院の方向性を議論する中で検討されるべき問題で、縮小ありきではない。縮小するとすればベッド数の減、20床未満の診療所あるいは無床化ということが考えられる。在宅医療については現在医師による往診、訪問看護ステーションで行っているが、熊山病院、訪問看護で対応できない場合は民間病院にお願いすることになる。在宅医療はその需要の増加によって今後対応していく予定である。



市立熊山病院の待合室



井上稔朗議員

# 問 市有施設の命名権の売却を

## 答 検討する

**問** 新たな財源確保の手段として

市有施設の命名権（ネーミングライツ）の売却、  
公用車への広告掲載、  
市のホームページへの  
バナー広告の募集などを  
実施すべきである。

**答**

市有施設の命名権売却については、施設を設置した理念や桜が丘いきいき交流センターのように市民に施設名を公募したなどの経緯、企業名や商品名を使った場合の影響など考慮する課題がある。

公用車への広告掲載は赤磐市の地域性になじむか疑問である。

他市の状況を研究する。ホームページのバナー広告の掲載については、広報紙への広告掲載実施後に速やかに対応する。

**問** 命名権の売却について、何でもかんでも売ってしまうと言っているのではない。

桜が丘いきいき交流センター内の大ホール・熊山のホッケー場・ふれあい公園のプール・グラウンドゴルフ場などを検討したらどうか。

財政難の中で財源を確保していくには、否定的



グラウンドゴルフ場クラブハウス（中島）

などところからスタートするのではなく、どうしたら新しい財源が確保できるのか、また金額は少なくとも積極的に歳入を増やしていくとの考え方が大切である。

**問** 公用車への広告が赤磐市の地域性になじむかどうかなど言わないで、1台でも考えて欲しい。

**答** 市有施設はたくさんあるので、安定的な収入を得るため課題は多いが検討する。

可能な公用車もあるかもしれないので、検討する。

市民、職員並びに議会にどう理解を求めて実施するのか。また、日程はどうか。

# 問

## 約18億円の歳出削減計画(案) 提示日程は

# 答

### 6月まで十分議論する



小引美次議員

**問** 現在、削減についてのように行っていくか検討中だが、6月には行財政審議会でその内容を審議する予定になっている。それまでには庁内で十分議論を尽くしたいと考えている。

**答** 広報紙、市長巡回対話室、区長・町内会長の会議と、あらゆる機会をとらえて協力をお願いする。

**問**

職員給与の比較は国ではなくとの提言をどう考えるのか。

**答** 現在は国との比較、これのみを載せている。今後はより身近な県との比較も載せる方向で考えていきたい。

**問** 時間外勤務の縮減効果はどうか。

**答** 昨年の同時期と比較して、約2300万円、率で35・6パーセントを削減した。合併2年目を迎えて業務の効率化や週休日の振りかえによる削減効果が出ている。業務の効率化や職員の意識改革により、さらなる削減に努力する。

**問** 長期継続契約について、選択と集中を指導するか。

**答** すぐ選択と集中ということにはいかない部分もあると思うが、十分意見は尊重する。

赤磐市長 荒嶋龍一 殿

赤磐市行政改革審議会  
会長 多田 憲一郎

平成18年度赤磐市行政改革に関する提言について

本審議会は、赤磐市行政改革大綱及び同実施計画の進捗状況について1年間ごとき慎重に審議してきました。赤磐市を含めた地方自治体は、地方分権という大きな流れの中で自らの責任と判断でその進むべき方向を決め、具体的な施策を自ら実行していかなければなりません。しかし、国の三位一体の改革による地方への財源移譲も十分進んでいるとはいえず、地方交付税の減少や国や県の補助金削減等が先行している現状から赤磐市の財政状況は慢性的な財源不足が懸念されており、この状態から脱却するためには赤磐市の最重要課題として行政改革に積極的に取り組む必要があります。

しかしながら、1年間の審議の結果赤磐市の行政改革への取り組みはまだ不十分と言わざるを得ません。危機的な財政状況の中、総合計画の着実な推進を図り、魅力あるまちづくりを進め、住民サービスをさらに向上させていくためには、行政改革大綱実施計画の中に具体的な目標を定め、その目標を達成することで「赤磐市の持続的発展を支える改革」である行政改革の推進を図っていく必要があると考えます。

このことから平成19年度の赤磐市の行政改革の推進にあたっては、本審議会の審議経過を十分踏まえ、特に次の点について重点的に取り組まれるよう提言します。

### 審議会からの提言書

問

吉井川堤防のかさ上げは

答

国・県へ要望する



北川勝義議員

**問** 今までに一般質問した入札の最低価格の廃止 各種イベント助成 指定管理者制度と民間活用 図書館建設 熊山駅前等周辺整備 広域ごみ処理場についての実行性はどうか。

**答** 工事の適正施工確保のため最低制限価格は必要 検討する 是里ワイン醸造場は完全民営化も含め検討 つつじ荘・あかまつ荘の民間運営は無理だが特定寄付の方法も含め検討 市民の意見を聞き進める 予算に調査委託料を計上し推進する 平成25年度完成に向け進める 予定地は熊山地内の美作岡山道路周辺で検討している。

**問** 合併により人の流れに変化が起きている。交通網を早期に整備する必要があると思うがどうか。

**答** 個々運行している交通の再編と交通空白地域への取り組みを行う。スクールバスは遠距離通学支援の具体的基準を設け公平な運行を行う。

**問** 備作高校の振興協議会で市立定時制学校の設立を目指すところがあるが現状はどうか。また交通費の助成はどうか。

**答** 市立定時制高校設置に向け県に強く要望する。遠距離通学となる生徒には県が通学費貸付金の貸与制度を設けている。

**問** 農業振興について 集落営農の進め方 農機具購入助成 直売所の現状と建設計画 給食センターの地産地消の取り組みについてどうか。

**答** 農協、普及指導センターと連携し推進する 検討する 市内には9カ所ある 新規直売所建設は検討する 学校給食

に地域特産品が活用されるよう取り組む。

**問** 公共墓地の進捗状況はどうか。

**答** アンケート調査結果に基づき整備計画を策定予定である。

**問** 吉井・山陽地区にJAと協力して葬祭センターを建設してはどうか。

**答** JAと協議し取り組みたい。

**問** 河川改修について 吉井川堤防かさ上げ 砂川改修 滝山川改修及び浚渫についてどうか。

**答** 安心安全な生活確保のため早急な改善が必要で国・県に強く要望する しぶ川と砂川合流部から大谷川合流部の間は県と協議を重ね改修計画を提示したい 吉井川堤防改修と併せて改修が必要で国・県へ要望する。 浚渫は中村橋から吉井川合流点までの間を実施するよう要望する。



吉井川堤防(福田)

## 議会を傍聴しませんか

本会議、各常任委員会は一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください(本会議：定員30人、各常任委員会：定員5人)。

また、本会議については、市役所本庁舎1階市民コーナーにモニターを設置してありますので、どうぞお気軽にご覧ください。

平成18年8月臨時会から議会中継を開始し、議場での一般傍聴者数は減少しています。

平成18年度赤磐市議会本会議一般傍聴者数(ただし、議場にて傍聴した人数のみ)

種別	会期	傍聴者数	備考
平成18年6月第2回定例会	平成18年6月8日～6月28日	35人	
平成18年8月第3回臨時会	8月21日	8人	モニターによる議会中継開始
平成18年9月第4回定例会	9月5日～9月29日	21人	
平成18年12月第5回定例会	12月1日～12月22日	16人	
平成19年1月第1回臨時会	平成19年1月17日	0人	
平成19年3月第2回定例会	2月27日～3月22日	10人	
合計		90人	

平成18年度赤磐市議会各常任委員会別一般傍聴者数(年間)

種別	開催回数	傍聴者数
総務委員会	6回	2人
厚生委員会	10回	23人
産業建設委員会	8回	3人
文教委員会	8回	4人
合計		32人

年度別本会議一般傍聴者数(ただし、議場にて傍聴した人数のみ)

年度	人数
平成17年度	228人
平成18年度	90人



1階市民コーナーのモニター

第19回 全国生涯学習フェスティバル



まなびピア

岡山2007

晴れの国 キラリ☆輝く まなびの輪

赤磐市でも開催

11月2日(金)～11月6日(火)

えられるもの。  
みんなで企画を考え、みんなが赤磐市の「人いきいき、まちキラリ」を表現して内外共に輝かせたいものです。  
(具体的な実施内容等については、今後情報提供されます。)

赤磐市発足の年には岡山国体で、昨年はNHKのど自慢と全国にその名を発信し続けてきた。市政も3年目がスタートし、図書館、赤坂中体館、吉井給食センター建設など大型事業が進む。一方、ソフト面では11月の全国生涯学習フェスティバル参加の事業がある。

本年度は岡山県が19回目の開催県となつて「まなびピア岡山2007」を展開、全国にアピールする。各自自治体もこれに取り組み、生涯学習の気運を高めることを目的としているもの。県ではすでに準備に入っており、総合グラウ

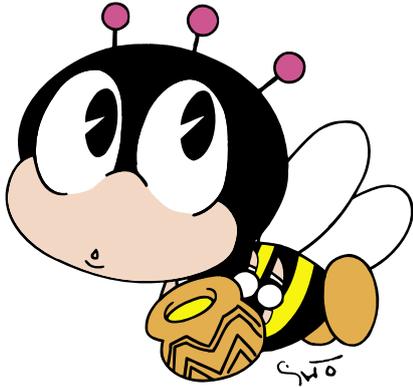
ンドを主会場とし、11月2日～6日までの開催を決定している。赤磐市でもこれと連携。県にならつて実行委員会が発足、桃太郎アリーナでの赤磐市の紹介展示によるPRの方法、市内で実施する文化芸術、スポレクなど、さま

ざまな学習スタイルと体験を盛り込んだ諸事業の具体化と検討を急ぐ事としている。めつたに巡つて来ない全国規模での生涯学習フェスティバルである。中央会場での赤磐市のアピールは絶好のチャンスでもある。また市内での主催イベントは各学習グループ、団体をはじめいろいろな参加のかたちが考



今回の編集で委員8人の任期も切れます。この2年間は赤磐市誕生からの2年間でもあり編集に携わる委員にとつても重い仕事でした。そのような中で、市民の目線にたつて、できるだけ読みやすい紙面を提供したいという思いをそれぞれの委員が心に抱き編集してきました。委員それぞれが広報に込める思いはひとしおのものがありません。広報は市民と議会をつなぐ絆であるという思いは次の委員にも引き継がれ、よりよい紙面が提供されることと思ひます。

編集後記



生涯学習のマスコット

マナビィ

石ノ森章太郎氏のデザインで、生涯学習の「学び」とミツバチの「Bee」をあわせて、「マナビィ」と名付けられました。

6月定例会のお知らせ

次回6月定例会は、6月8日から6月29日まで、22日間の会期で開催予定です。

多くの皆様の傍聴をお待ちしております。

議会広報編集特別委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 井上 稔朗 |
| 副委員長 | 小田百合子 |
| 委員   | 武本 一郎 |
| 委員   | 藤田 圭右 |
| 委員   | 羽原 章  |
| 委員   | 岡崎 達義 |
| 委員   | 山下 浩史 |
| 委員   | 松田 勲  |